坂ろうだより

第3号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和8年6月1日

熱闘！　運動会・体育祭

5月23日(土)、運動会・体育祭を行いました。19日(火)の予行練習では、熱中症が心配されるほどの暑さだったのですが、前々日から気温が急降下。雨も降って実施が危ぶまれるほどでした。当日は雨が上がり、曇り空ではありましたが、身体を動かすにはちょうどいい気温となりました。

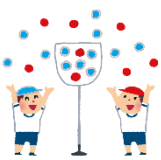
幼稚部から高等部までの全幼児児童生徒を赤と青の2グループに分け、競技種目と表現種目、応援合戦で競い合いました。勝負事ですから、勝ったり負けたりはつきものです。しかし、中学生、高校生が幼稚部、小学部の子どもたちの手を取ってグラウンドにいざない、先輩たちの姿をあこがれのまなざしで見つめるといった一体感は、本校の最大の魅力と言えるでしょう。開会式の選手宣誓で生徒代表が高らかに宣誓したように、勝ち負けを超えたスポーツマンシップを全身で表現してくれたすべての幼児児童生徒に大きな拍手を送ります。

応援してくださった保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。来年度の運動会・体育祭も楽しみにしてください。

闘気の青

情熱の赤

勝ったのはどっち？



令和8年度学校公開のご案内

1 日　　時:令和8年6月11日(木)　9:30～12:20(受付9:00～9:30)
2 内　　容:学校概要説明、授業公開、校内見学、質疑応答など
3 申し込み:本校 HP をご覧ください。また、地域の方で参加を希望される方は、教頭までお問い合わせください。TEL 049-281-0174

地域の方のご参加もお待ちしています。

勝呂福祉作業所まつり　太鼓発表

5月2日(土)、勝呂福祉作業所まつりにお招きいただき、寄宿舎「こばと会」による太鼓の発表をしました。今年度初の地域行事での発表に中高生合わせて8人が参加し、「雷神」「ぶち合わせ太鼓」の2曲を発表しました。演奏後、お客さんからの「アンコール！」に応え、急遽「かがやけ囃子」を披露したくさんの拍手をいただきました。

天気に恵まれ、お客さんもたくさん来場し、大盛り上がりのお祭りに参加でき、メンバーの晴れやかな笑顔がはじけていました。

幼稚部遠足

5月14日(木)幼稚部全員でバスに乗って、平成の森公園へ遠足に行きました。長いすべり台やターザンロープなどの大きな遊具に夢中になって遊びました。たくさん体を動かした後は、大きなこいのぼりが雄大に青空を泳ぐ下で記念写真を撮り、そして美味しいお弁当をもりもり食べました。

帰りのバスに乗るまで、お友達とたくさん遊べた一日でした。

小 学 部 遠 足

5月8日(金)に埼玉県こども動物自然公園へ遠足に行きました。広大な敷地の動物公園、今回は北園を中心に見学しました。特にペンギンの見学では、すぐ近くをペンギンが歩く様子を見られてみんな大喜びでした。

牛の乳しぼり体験、キリンテラスでの見学など、動物を身近に感じられた一日でした。

響きと「目」の中で育つ力

校長　棚田　茂

5月、本校では幼児児童生徒が力いっぱい活躍する二つの大きな行事がありました。

一つは、寄宿舎太鼓サークル「こばと会」による勝呂福祉作業所まつりでの演奏です。当日は「雷神」などの演目を披露し、多くの地域の皆様から温かい拍手をいただきました。演奏後には、「胸に響いた」「迫力がすごかった」「子どもたちの表情が生き生きしていた」といった感想も寄せられ、地域とのつながりを改めて感じる機会となりました。

一般に、「耳が聞こえないのに太鼓を楽しめるのですか」と尋ねられることがあります。しかし、ろう・難聴者にとって太鼓は、単に“音”を聴くものではありません。身体に伝わる振動、空気の揺れ、仲間の動き、視線、息づかいなどを通して、一体感やリズムを感じています。特に大太鼓の振動は、床や身体を通して全身に伝わり、演奏者同士の気持ちをつないでいきます。聞こえる・聞こえないを超えて、人と人とを結びつける力が太鼓にはあるのだと、改めて感じました。

もう一つは、5月23日に行われた運動会・体育祭です。今年度も多くの保護者や地域の皆様に見守られながら、無事に終えることができました。競技に全力で挑む姿、仲間を応援する姿、係活動に責任をもって取り組む姿など、一人一人の成長を感じる場面がたくさんありました。

本校の運動会・体育祭では、視覚的な工夫を大切にしています。旗や合図、仲間の動き、スタートのタイミングなど、「目で見ること」によって状況を理解し、自ら判断して動く場面が多くあります。これは単なる“配慮”ではなく、ろう学校ならではの文化や学びの形でもあります。幼児児童生徒たちは、互いの姿をよく見つめ合い、気持ちを通わせながら競技を進めていました。

太鼓も運動会も、「聞こえないから難しい」のではなく、「聞こえないからこそ育つ力」があります。本校ではこれからも、一人一人が自分らしく力を発揮できる学校づくりを進めてまいります。